

(別紙様式1)

令和2年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名： 北海道

農業委員会名： 和寒町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和2年4月1日現在)

1 農家・農地等の概要

	農家数(戸)
総農家数	237
自給的農家数	20
販売農家数	217
主業農家数	143
準主業農家数	19
副業的農家数	55

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	511
女性	242
40代以下	72

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	189
基本構想水準到達者	
認定新規就農者	3
農業参入法人	
集落営農経営	
特定農業団体	
集落営農組織	

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	2,720	1,900				4,620
経営耕地面積	2,557	1,544	1,307			4,101
遊休農地面積	2.3	1.2	1.2			3.5
農地台帳面積	2,803.2	2,156	2,156			4,959

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

新制度に基づく農業委員会

任期满了年月日 R 2年 7月 19日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	14	14
認定農業者	—	11
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	2
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	—	—	—

*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和2年4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	4,620ha	4,441ha	96.13%
課 題	農業従事者の減少、高齢化による耕作放棄地の増加、後継者不在等により、農地の確保・有効利用が課題。後継者が比較的いる地域とない地域があり、関係団体と連携をとりながら対策を講じ、利用集積を図る必要がある。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和2年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 4,441 ha (うち新規集積面積 10 ha)
	目標設定の考え方: 関係団体等と連携を図り、地理的・地形的に条件が悪い農地を有効に処理することを目標とし、現状を維持する。
活動計画	円滑な権利移動ができるように、町の広報誌を活用し、農業経営基盤強化促進法による利用権設定の制度等の周知を実施する。

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に行うのか等詳細かつ具体的に記入

III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	29年度新規参入者数	30年度新規参入者数	元年度新規参入者数
	0 経営体	0 経営体	0 経営体
	29年度新規参入者が取得した農地面積	30年度新規参入者が取得した農地面積	元年度新規参入者が取得した農地面積
	0 ha	0 ha	0 ha
課 題	現状については、親元就農がほとんどであり、新規参入者については、農地取得経費や設備投資などにおける初期投資がかなり必要となっていることから厳しい状況にあり課題である。		

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和2年度の目標及び活動計画

参入目標数	1 経営体	参入目標面積	2.0 ha
活動計画	新規就農要望及び相談があった際に、農地の確保等に関する情報提供及び農用地利用改善組合や関係団体との連携により新規参入者の協力を強化する。		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に行うのか等詳細かつ具体的に記入

IV 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (令和2年4月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	4,620ha	3.5ha	0.07%
課 題	今後も、所有者に対し遊休農地の耕作指導を継続する。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和2年度の目標及び活動計画

目 標	遊休農地の解消面積 1 ha		
	目標案設定の考え方:1.0haを毎年の解消面積の目標として4年以内に遊休農地の解消に努める。		
活 動 計 画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期
		14 人	4月～8月
	調査方法	事務局・農業委員で対象となる農地を調査する。	
	農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期
		9月～2月	9月～3月
その他			

※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない

※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和2年4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	4,620ha	0ha
課 題	違反転用への適切な対応を図るため、農業者等への周知を努めるとともに、農地パトロール等を徹底する。	

※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和2年度の活動計画

活動計画	違反転用の是正指導、違反転用の発生防止に向けた取り組み 4月～11月 広報活動、農地パトロールの実施(8月重点パトロール)
------	--

※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入